

安全運転アドバイス

冬期の運転編

冬期は、積雪や路面凍結など車の運転には危険な条件が重なります。
降雪時や積雪路・凍結路の危険を認識し、安全運転につなげましょう。

冬期の路面は事故件数が約1.2倍

※北海道版警察白書（平成28版）「北斗の安全」の数値より当社算出

過去5年間※の平均交通事故発生件数（北海道）

12～
2月
平均

交通事故発生件数
1,306件

3～
11月
平均

交通事故発生件数
1,087件

約1.2倍

※平成23年から平成27年までの5年間

注意すべきポイントと対策

1 滑りやすい ●スピードを抑え、車間距離を確保しましょう



ポイント

- ・積雪路や凍結路は大変滑りやすいため、追突事故などが発生しやすくなります。
- ・急ブレーキやカーブ途中でのブレーキなどはスリップするおそれがあり、大変危険です。
- ・また、凍結路は見分けにくく、スリップして初めて気付くことも少なくありません。

対策

- ◇スピードを抑え、車間距離を十分に確保しましょう。
- ◇停止する際やカーブに進入する際は早めに減速しましょう。
- ◇「深夜から早朝」「橋の上・トンネル出入口」など路面が凍結しやすい時間帯や場所では特に慎重な運転を心がけましょう。

2 視界が悪い ●意識して視界の確保を行いましょう



ポイント

- ・降雪時は視界が悪いため、危険の発見も遅れやすくなります。
- ・激しい吹雪などの場合は、前方がほとんど見えなくなることもあり、大変危険です。

対策

- ◇運転前には全てのガラスの雪を落とし、視界の確保に努めましょう。
- ◇前方の視界が特に悪い時は、無理をせず、安全な場所に一時避難して様子を見るようにしましょう。

3 危険な行動に遭遇する ●代替交通機関の利用等も検討しましょう



ポイント

- ・積雪路では歩行者の歩く速度も遅く、また、雪道に足をとられて転倒することもあります。
- ・他の車が「止まれず」「曲がれず」に停止線やセンターラインをオーバーしてくることもあります。

対策

- ◇前方を歩行者が横断しているときは、十分にスピードを落としましょう。
- ◇「急な積雪でノーマルタイヤしか用意がない」「雪道の運転に自信がない」といった場合には、代替交通機関の利用等を検討しましょう。

あたり前のことを確実に行うことが事故防止につながります。ぜひ安全運転をお願いします。